



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

9月は米国の利上げ、日銀の追加金融緩和という2つの大きな中央銀行政策の方向性に、マーケットの注目が大きく集中していましたが、結果は米利上げ見送り、日銀の緩和政策も量から金利への転換は迫力を欠いて、月末にかけての市場環境は方向性を見いだせず上下を繰り返しました。

世界経済全体は確かに勢いを欠いてはいても、最大の経済規模を誇る米国が追加利上げを俎上にのぼらせる程良好な景気回復基調を保っており、中国経済は財政投入効果で当面失速懸念が和らいでいて、新興国市場への資金の流れも好循環が維持されるなど、市場の風向きは決して悪くありません。

円高基調の是正には、今後米国の利上げ実行や日銀のマイナス金利深堀りなどの大きな政策インパクトが必要でしょうが、世界経済全体は活力が減退しているとはいえ3%超の成長軌道は保っているわけで、日本の内向きな視点で見ていると、足元の閉塞感から将来への成長期待を忘れてしまいがちですが、世界に目を転ずれば、巡行速度内で成長が続いていることを感じられるはずです。

その軌道に乗って進む「セゾン号」乗客の皆さまにとっては、円高局面をのんびり仕込みの時期と捉えて、コツコツ口数を積み上げて行くことが、合理的行動になると考えます。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

9月の市場動向

株式：【米国の早期利上げへの警戒が和らいだものの、景気の先行きに対する不透明感が根強く方向感の無い展開】

終盤、米国では利上げが見送られると共に、利上げペースが非常に緩やかなものになるとの見方が強まったものの、米国で景気の力強さに対する懸念が強まっているほか、ユーロ圏や日本で金融緩和への期待が後退したことから、上昇には力強さを欠きました。

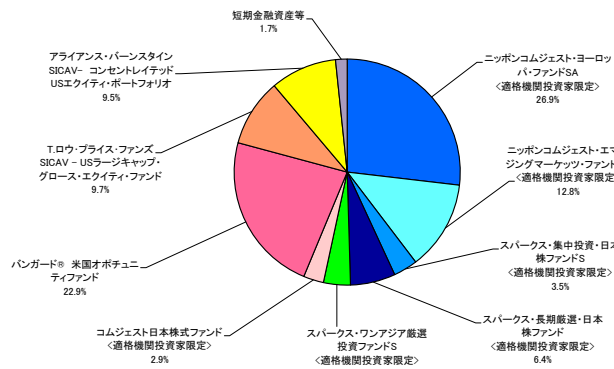
為替：【利上げ観測が後退したドルが下落し、追加緩和観測が後退したユーロが堅調。円は対ドル、対ユーロで上昇】

利上げ観測が後退したことを受けてドルが下落する一方で、追加緩和観測が後退したユーロが堅調な展開となりました。円は、日本銀行が新たな金融緩和の枠組みを打ち出したものの、金融緩和策の限界が意識されて金融緩和への期待が後退し、上昇しました。

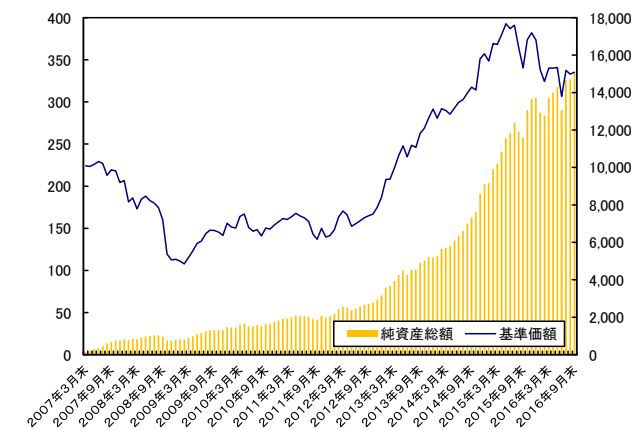
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年9月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
15,086円	333.8億円	+50.86%	+0.69%	-1.42%	-1.51%

資産配分状況(2016年9月30日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



9月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月から上昇し、月末時点で1.7%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

当ファンドはアクティブファンドであり、受益者の皆様は当然、コスト控除後で市場平均を上回る成果を上げることが期待して投資されていると思います。

一方で、一般にアクティブファンドが市場平均に連動するインデックスファンドのパフォーマンスを上回る確率はコストを考慮しない場合 50%程度であり、アクティブファンドに課される相対的に高いコストを考慮すると 50%を下回ります。当社としても、金融市場は、勝つ人がいればそれに対応した負ける人がいる「ゼロサム（合計がゼロ）」市場であり、市場平均を上回る成果を継続的に生み出すことは、何かを諦めることにより、自らが相対的に有利な状況で行動しない限り、難しいと考えています。

短期的な利益が好まれる金融市場において、当ファンドの優位性は、受益者の皆様が長期的な視点で投資を行って頂いていることを前提に、常に市場平均を上回ることを目指さず、投資先のファンドを通じて、市場の平均的な参加者よりも長い視点で優れた投資機会を発掘することにより、その結果、長期的に見ると市場平均を上回る成果を生み出すことが出来ると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）